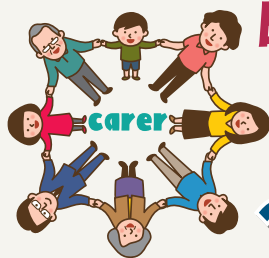


対面/ZOOMハイブリット形式



日本ケアラー連盟 15周年記念イベント

条例化から法制化へ ～ケアラー支援の未来を描く～

5/25日
13:30～
16:00

日本ケアラー連盟は、2010年6月7日に、介護を必要としている人も介護者も、共に「尊厳ある個人」として自分の人生の主人公になれる共生の社会をつくる事を目指して結成されました。そのためには、身体的・精神的・経済的な負担のすべてを介護者自身に負わせてきた社会を変えなければならない。病気や障害ごとの縦割り介護を横につなぐこと、「ケアラー」として手をつなぐことが、現在の介護者の支援だけでなく、将来、介護者になるかもしれないすべての人々の未来の希望をもたらすはずであると考え、当面の目的として、介護者の現状の正確な把握、介護者の多様な必要性に対応した支援の実現、そのための必要な政策化を掲げました（「ケアラー（家族など無償の介護者）連盟結成宣言」より）。

発足から15年が経ち、2020年3月「埼玉県ケアラー支援条例」の制定を皮切りに、現在では33の自治体で、ケアラー・ヤングケアラーの支援を推進する条例が制定され施策が実施されています。ヤングケアラーの支援については、生活困難と結びつける形で法律に位置付けられ全ての自治体の取組みが努力義務となりました。

しかしながらすべての多様なケアラーの存在と支援について社会が深く認識する必要性や、理念、包括的なサポートの枠組みを規定する法律の制定はこれからです。

今回の15周年記念イベントでは、ケアの価値、ケアする人・ケアを必要とする人の人権をベースにした条例制定に深く関わった、首長、市民、議員の皆さまと共に、ケアラー支援の法制化、ケアラー支援の未来を語り合いたいと思います。ご参加をお待ちしております。



参加費 会場・オンラインとも同額▶（一般）2,000円（ケアラー当事者）1,000円（日本ケアラー連盟会員）無料（学生）無料
※オンラインのお支払い方法は申し込み後にご連絡いたします。

参加形式 対面またはZOOMによるハイブリット形式 **定員**（会場）70名

参加申込 HPや右記のQRコードから申し込みフォームにご登録ください。

オンライン参加者へは、後日、ZOOM-URL^(※)をお送りします。（※）事前にZOOM環境をご用意ください。

日時 2025年5月25日（日）13:30～16:00 **申込締切** 2025年5月21日（火）

会場 TKP市ヶ谷カンファレンスセンター3C（住所）〒162-0844東京都新宿区市谷八幡町8 TKP市ヶ谷ビル（JR総武線 市ヶ谷駅1分）



プログラム

◆開会

フォーラム趣旨説明

▲日本ケアラー連盟代表理事

自民党ケアラー議員連盟会長挨拶

▲衆議院議員 田村 憲久氏

パネルディスカッション

◆条例制定の状況と、条例化後の施策実践

〈パネリスト〉 ▲佐々木 学氏（北海道栗山町長）

▲津止 正敏氏（京都ケアラーネット共同代表）

▲竹村 雅夫氏（神奈川県藤沢市議会議員）

〈コーディネーター〉 ▲堀越 栄子（日本ケアラー連盟代表理事）

政策提言～法制化に向けて～

▲中嶋 圭子（日本ケアラー連盟理事）

法制化を求めるメッセージ

▲きら 英敏氏（埼玉県議会議員）

▲ごう まなみ氏（長崎県議会議員）

◆閉会

【登壇者プロフィール】

◆佐々木 学（ささき まなぶ） 北海道栗山町長

北海道三笠市出身。1981年栗山町役場入庁、主に企画・財政部門を歴任し、2018年に栗山町長就任。“みんなが元気なまち”を将来像として、全国唯一の町立による介護福祉士養成校「北海道介護福祉学校」を拠点に「ケアラー支援条例」の制定や、地域包括ケアシステムの充実など、福祉のまちづくりを推進。



◆津止 正敏（つどめ まさとし）

1953年生まれ。立命館大学名誉教授。京都ケアラーネット共同代表。男性介護者と支援者の全国ネットワーク代表。日本ケアラー連盟代表理事。



◆竹村 雅夫（たけむら まさお） 神奈川県藤沢市議会議員

前神奈川県藤沢市議会副議長。藤沢市議会政策検討会議議長として、藤沢市の「ケアをされる人もする人も自分らしい生き方ができる藤沢づくり条例」の制定作業を取りまとめる。藤沢市精神障害者家族会副会長。



お問い合わせ

一般社団法人 日本ケアラー連盟

email info@carersjapan.com

t e l 03-3355-8028（月曜）13:00～17:00

住 所 〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-24-7
ルネ御苑プラザ 513

w e b https://carersjapan.com/